

2月定例会のご案内

脇田氏(講師)による、DVDケースジャケットの外注印刷についての実際 他
1月定例会で行う予定でしたが都合により2月に実施いたします。今回は発注手順・品質(用紙
&印刷レベル)・価格・納期等について、実際の現物を提示しながら説明していただきます。

日時 2月14日(水) 午後7:00~
場所 日暮里サニーホール 第2会議室

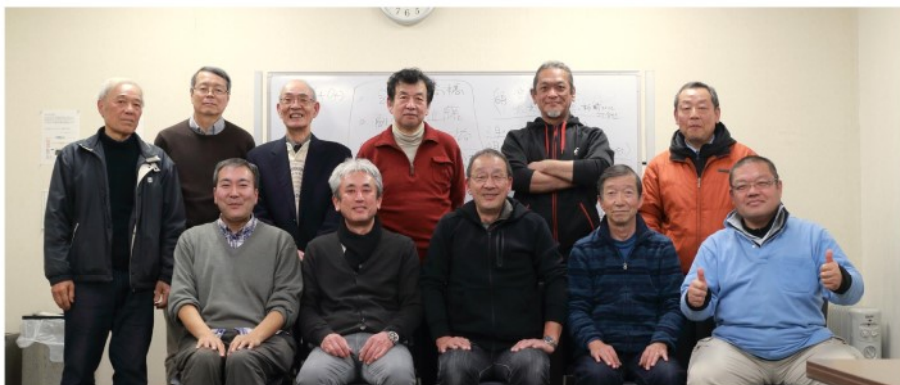
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5
ホテルラングウッド5階 03-3807-3211
JR・京成 日暮里駅前より徒歩約5分。

H30年会費(12,000円)未納の方は下記へ至急お振込み下さい。

みずほ銀行 小田原支店 口座番号2808721 ビデオナービズネット 高橋昌一
尚、会費納入がされない場合は「自動退会」となりますのご注意願います。

よろしく
お願いします

1月定例会報告 (2018/1/15)



新年の初顔合わせ。
(都合により欠席者も
おりましたが)
今年も昨年同様よろ
しく願っています。

定時総会開催

- 総会決議において、2018年度の役員は下記の通りとなりました。
会員のみなさま、今年度もよろしく願っています。
会長(会計兼任):高橋昌一 副会長(監査兼任):近藤一明 広報(HP担当):吉岡伸次

定例会討議内容

- 今年度活動の概略計画
 - 4月定例会:小学校への営業(講師:近藤さん)
 - 6月定例会:ホールを借りての音と撮影の実地勉強会(ホール手当てによっては、実施日移動アリ)
※また実地前に、机上勉強会を行った方がより効果的なので事前実施したい。
 - 7月定例会:全会員による映写会
- その他の勉強会要望テーマ
 - ①ジャンル別完パケ(会員が業務販売されているビデオ)上映会
卒園式、お泊り保育、ピアノ発表会、運動会、発表会、バレエ、日舞、吹奏楽、合唱
 - ②クレーム処理 ③企画物の撮影 ④スマホ、osumo, Go Proの活用
 - ⑤営業全般 ⑥撮影現場の見学

私の営業デビュー 佐藤光一

14年前に長年勤めていた会社をリストラになりました。

建築写真を撮影する会社でした。狭い業界だけに求人募集を待っていてもないと思い独立することにしました。失業保険が6か月もらえる、その間に何とかしなければと毎日、毎日、営業をしました。めーいっばいやると、不安は感じず仕事はないのに充実感すらありました。知り合いの人から「トップセールスマンの極意」という本を貰いました。そこには「トップセールスマンとは最も多くの侮辱を受けた男である。」「トップセールスマンとは最も多くの断りを受けた男である。」そして10か条の最後に「トップセールスマンとはそれを乗り越えた勇者である。」と書かれていました。今の時代には少し大げさに聞こえるかもしれませんが、この言葉を心に思い営業先のドアをノックしていきました。

主な営業先はブルーシートに覆われた建築中の現場の事務所である。土曜日はどこの現場も仕事をしている。街が静かなので自然と工事音がする方向に足が向いた。ある時は、電車に乗っていて川沿いにブルーシートの建物を発見。声をかけてみた。そこに3回通って仕事を頂いたこともある。新規開拓が出来るようになると、新規開拓ばかり狙いたくなる。全然知らなかった人と関係が持てて、仕事に対する代価をもらえたからだ。しかし、私は一人なので広げすぎでは無理がある。仕事をやらせて頂いた人達を大切に、役に立てる存在になろうと思った。その頃の出会った人が今のお客様たちです。

営業は色々変化しながら、もちろん今も続いています。

西湘のビデオ屋稼業 高橋 昌一

2018年も時間が流れ去る感じで2月に入った。年末に続いた撮影の編集もようやく峠を越えた感がある。油断できないが。

その年末の撮影で機材トラブルが発生した。

一つは、マルチカメラ撮影には必須の外付けモニターの故障。ガイドブックにも載っている機種で購入したばかりの品。撮影開始1時間ほど経過後、その中の1台が突然のブラックアウトに。「あれっ？ 結線のゆるみ？」とあたふたしたが本体の故障でした。

二つ目は、マルチ撮影時でのステージ全体を押さえる引き用カメラ。明暗変化の際のハンチングを防ぐためにフォーカスを置きピンにしている。年末の連続撮影終了後、撮り溜まった映像の編集スタート。その「引き用カメラ映像」のピントがどうも甘い。一瞬、ピント合わせの失敗？ でもキッチリ合わせたはず… 思わず自分自身に対して疑心暗鬼になるいやな気分。他現場での映像も確認したところほぼピン甘画像の連続で気分はややあせり気味。そして1月にあったホールリハーサルでそのカメラの確認をしたところ、結局カメラ側の不具合と結論。

年末の連続撮影データはその都度全キャプチャーし、編集画面のタイムラインにまで並べてデータの確認はおこなっていたものの、引き画ゆえ、よもやのピン甘画像の量産には気づけなかった。

モニターはすぐに無償修理対応に（液晶パネルとメイン基板交換）、カメラはこれから修理に出す予定で今のところ原因未特定。

で、結局編集作業はどうなったのか？ 今回は、本当に運よくなのか奇跡的なのか何とか編集のやりくりで無事に終えつつある。こういう時って本当に心底何か「感謝」したくなってしまう。